

# 「スパイラル」ロマネスコ 栽培のポイント



## 秋冬どり栽培での注意点

### ① 播種・育苗

高温期の播種になるので気温の下がる夕方に播種します(表1)。育苗は徒長しないよう注意し、夕方には土が乾くように管理します。灌水は夕方以降は行わないようにしましょう。肥料切れで葉が黄化してきたら追肥します。

### ② 圃場準備

秋冬どり栽培では定植後に台風や秋の長雨を経過します。排水の悪い圃場では排水対策(高畝栽培、<sup>めいさ</sup>明渠づくり)をします。

施肥量の目安:

N:P:K=15~20:20~25:15~20 (kg/10a)

全体の6割程度を元肥とします。

### ③ 定植

条間60~65cm×株間35~40cm程度を推奨します。また、播種遅れや定植遅れに注意します。気温が下がると、生育スピードが緩慢になるので比較的気温の高いうちに樹勢を確保するようにします。

### ④ 病害の防除

主な病害:黒腐病、根朽病など

病害は発生させないことがまず重要です。降雨の多い年や台風のような強風の後は、特に病気が発生しやすくなるのでしっかりと予防しましょう。また、多肥や密植で通気性が悪い条件でも病害の発生が多くなります(表2)。

### ⑤ 収穫

「スパイラル」は包葉性の高い品種(図1)ですが、年明け~3月どりでは葉を折ることでより一層凍害や鳥の食害、土ぼこりから花蕾を守ることが出来、品質の良いロマネスコを収穫できます。

「スパイラル」は耐寒性に優れ、花蕾の包葉性が高いため凍害を受けにくく、年内から年明けまで幅広く良品を出荷することができます(中間地及び暖地)。

■表1.スパイラルの推奨播種期および定植時期

推奨時期	播種期	定植期
冷涼地	4月下旬~6月中旬	5月下旬~7月中旬
中間地	7月中下旬~8月中旬	8月中旬~9月上旬
暖地	7月下旬~8月下旬	8月下旬~9月下旬

■表2.カリフラワーの登録農薬

病害名	農薬	使用時期やポイント
黒腐病	有機銅 (Zボルドーなど)	台風や大雨の後は出来る限り早く施用します。
根朽病	登録農薬なし	高畝にするなど圃場の排水をよくします。定植時に地際に傷をつけないように注意します。

注:使用農薬の選択および使用方法につきましては、お近くの種苗専門店や農協、公共の指導機関などにご確認の上、使用される農薬の注意書きをよく読んでお使いくださるようお願い申し上げます。



図1:「スパイラル」



図2:他社品種(凍害)

葉が花蕾をしっかり包んでくれるのが「スパイラル」の特長です(図1)。花蕾がむきだしとなる品種は厳寒期に凍害などに遭いやすくなります(図2)。